

表層は「平年並」、下層は「平年並～やや高め」で推移 平成24年12月11日
(平成24年12月の海況と今後の予測) 茨城県水産試験場

1. 本県周辺海域の概況(図1, 12/10現在)

- ・黒潮の流型は、蛇行したC型で推移しています。黒潮本流は、犬吠埼沖をやや接岸傾向で通過した後、本県沖合を東北東に流去しています。
- ・親潮第一分枝の先端位置は、北緯40° 30′ 東経145° 付近(青森県沖合)にあります。親潮の面積は平年より大きめです。
- ・東北海域の沿岸定置水温は概ね「平年並」で推移しています。また、三陸北部海域の水温環境は表層・下層(100m深)とも「高め基調」で推移しています。

2. 海洋観測結果(12/6～8:いばらき丸)

- ・時化の影響により、鹿島および犬吠埼定線の沖合定点(東経141° 45′ ~142° 00′)が欠測となりました。
- ・水平水温図(水温, 前月差, 平年偏差)を図2～9に示しました。また、各定線の鉛直水温図を図10～13に、会瀬・鹿島定線の鉛直水温図(前月差, 平年偏差)を図14～17に示しました。表面水温は、会瀬沖で15.7～17.2℃, 大洗沖で14.5～19.9℃, 鹿島沖で15.1～18.6℃, 犬吠埼沖で16.6～20.8℃でした(図2)。
- ・前月と比べると、表層～50m深では全域で降温(-5～-1℃)しました。下層(100m深)では、北部海域でやや昇温(0～+1℃)しましたが、南部海域ではやや降温(-1～0℃)しました(図6～7, 図14～15)。
- ・平年と比べると、沿岸・沖合の表層および極沿岸では「平年並」、沿岸・沖合の下層では「平年並～やや高め」となりました(図8～9, 図16～17)。

3. 今後の1カ月の見通し

- ・黒潮流型は蛇行型のC型で推移するでしょう。また本県沖合での黒潮流路は東北東に流去する状態がしばらく続くでしょう。
- ・親潮の面積は現状もしくはやや縮小し、親潮第一分枝の先端は北緯41° 東経144° (青森県沖合)にやや後退するとみられます。よって、本県沖に親潮系冷水が直接影響することはないでしょう。
- ・水温を平年と比べると、沿岸・沖合の表層および極沿岸では「平年並」、沿岸・沖合の下層では「平年並～やや高め」で推移するでしょう。

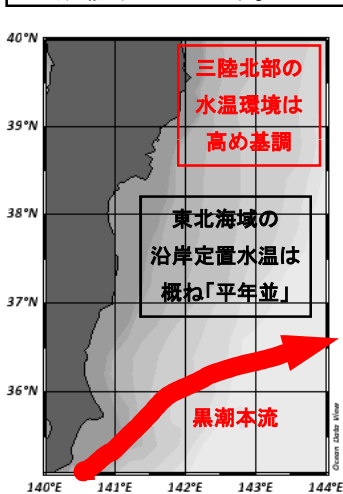


図1 海況の概要 (12月10日現在)

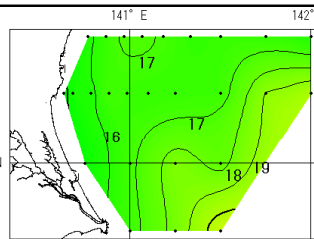


図2 海面水温(°C)

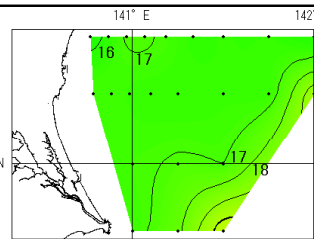


図3 50m深水温(°C)

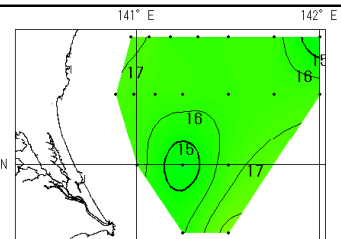


図4 100m深水温(°C)

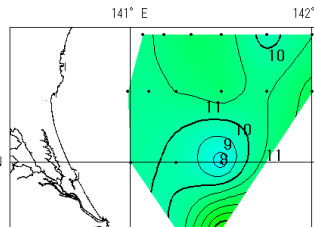


図5 200m深水温(°C)

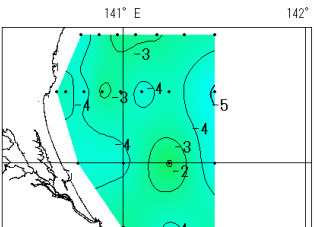


図6 海面水温前月差(°C)

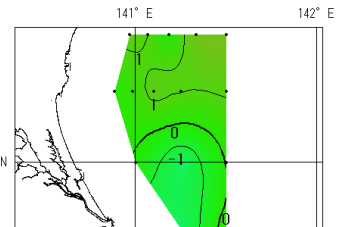


図7 100m深水温前月差(°C)

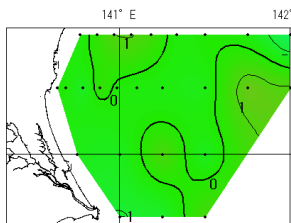


図8 海面水温偏差(°C)

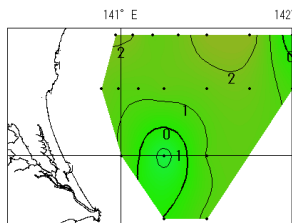


図9 100m深水温偏差(°C)

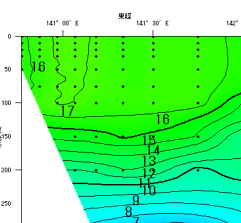


図10 会瀬沖鉛直水温(°C)

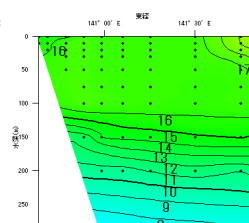


図11 大洗沖鉛直水温(°C)

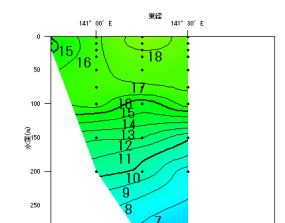


図12 鹿島沖鉛直水温(°C)

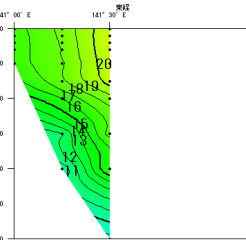


図13 犬吠埼沖鉛直水温(°C)

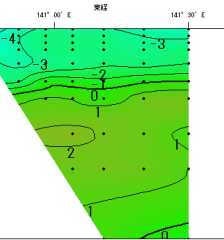


図14 会瀬沖鉛直水温前月差(°C)

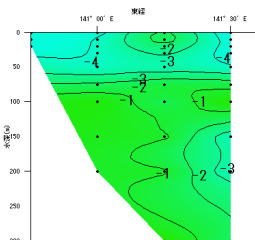


図15 鹿島沖鉛直水温前月差(°C)

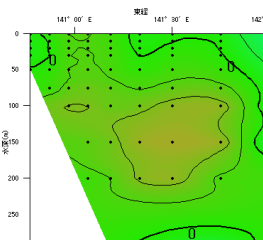


図16 会瀬沖鉛直水温偏差(°C)

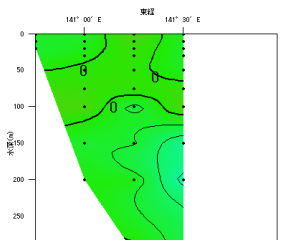


図17 鹿島沖鉛直水温偏差(°C)